

今後の調査審議の進め方

(第1回基盤整備部会資料)

令和元年7月26日(金)

もくじ

1. 調査審議の進め方の方針 1 P
2. 沖縄県振興審議会申し合わせ 2 P
＜今後の調査審議の進め方について（令和元年7月16日）＞【抜粋】
3. 正副部会長合同会議申し合わせ 3 P
＜沖縄県振興審議会における調査審議方針について（令和元年7月16日）＞【抜粋】
4. 部会における審議結果のとりまとめの流れ 4 P
5. 基盤整備部会における議題（検討テーマ） 5 P
6. 参考 6 P～13P

1. 調査審議の進め方の方針

- 今後の調査審議の進め方については、沖縄県振興審議会および正副部会長合同会議における申し合わせにおいて、方針が示されている。

今後の調査審議の進め方について
(令和元年7月16日 沖縄県振興審議会申し合わせ)

1. 調査審議の基本方針
2. 審議会の組織及び運営について
3. 審議会のスケジュールについて
4. その他



沖縄県振興審議会部会における調査審議方針について
(令和元年7月16日 正副部会長合同会議申し合わせ)

1. 目的
2. 会議の開催及び結果の報告等
3. 会議の議事
4. 議事録及び議事要旨

2. 沖縄県振興審議会申し合わせ

＜今後の調査審議の進め方について(令和元年7月16日)＞【抜粋】

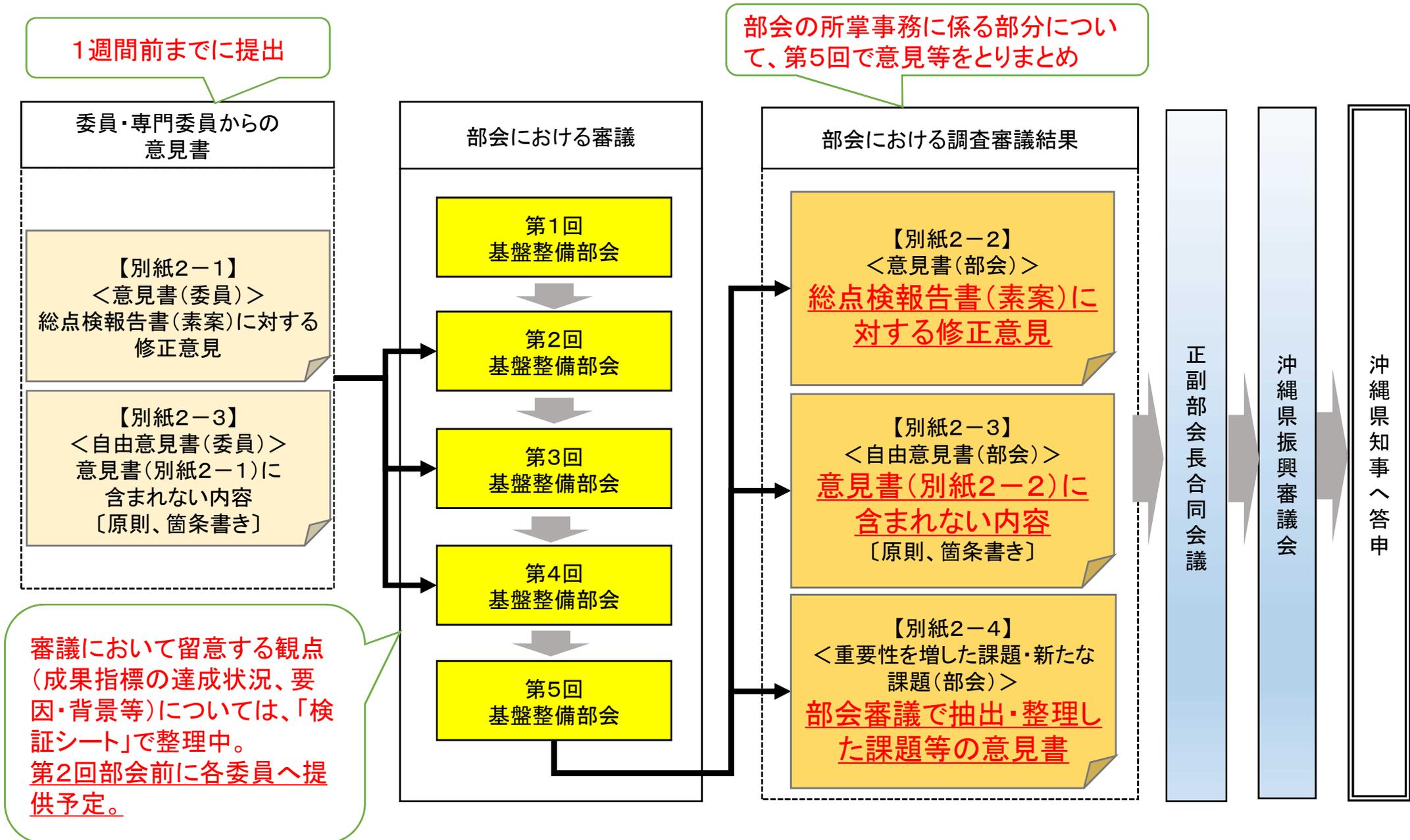
1 調査審議の基本方針について	<ul style="list-style-type: none">① 沖縄県では、今般「沖縄21世紀ビジョン基本計画（沖縄振興計画）等総点検報告書（素案）」を取りまとめ、本審議会へ諮問したところ② 本審議会では、諮問事項について、以下のとおり調査審議を当面すすめることとする③ 正副部会長合同会議において、部会における調査審議方針を協議決定する
2 審議会の組織及び運営について	<ul style="list-style-type: none">① 部会は、部会長が招集し、審議会の付託を受けて、それぞれの所掌事務に関する専門的な事項についての調査審議を行い、その結果を審議会に報告する。② また、必要があるときは、他の部会や専門委員と合同で調査審議を行うことができる。③ 委員及び専門委員は部会長の許可の下、部会に出席して意見を述べることも、部会長に対して意見書を提出することができる
3 審議会のスケジュールについて	<ul style="list-style-type: none">① 本審議会は、令和元年7月下旬から11月中旬までの間に部会を5回程度開催② 12月中旬を目途に正副部会長合同会議での調整を経て、12月下旬に審議会の会議を開き、知事への答申を行うこととする。
4 その他	<ul style="list-style-type: none">① 令和2年以降の審議会における調査審議について、別途申し合わせるものとする。

3. 正副部会長合同会議申し合わせ

＜沖縄県振興審議会における調査審議方針について(令和元年7月16日)＞【抜粋】

1 目的	部会における調査審議を効率的かつ効果的に進めるため、必要な事項を申し合わせる。
2 会議の開催及び結果の報告	<ul style="list-style-type: none"> ① 部会の会議は概ね5回程度、最終回は11月下旬までに開催 ② 部会における調査審議結果は各部会長が正副部会長合同会議において報告 ③ 県ホームページにおいて会議の開催及び会議資料を掲載
3 会議の議事	<ul style="list-style-type: none"> ① 各部会長は、あらかじめ議題（検討テーマ）を選定し、通知する。 ② <u>部会審議においては、次に掲げる観点に留意するものとする。</u> <ul style="list-style-type: none"> □ 「目標とするすがた」の達成状況 □ 成果指標の達成状況 □ 成果指標の達成に向けた取組の効果の検証 □ 取組の効果が発現されていないと思慮される場合には、その要因及び背景 □ 成果指標の達成状況に対する各種取組の有効性 □ 「新たな課題」及び「重要性を増した課題」の抽出 ③ <u>意見書の提出及び部会出席申請は、会議開催の1週間前までに部会長に提出（事務局の担当者経由）。</u> ④ <u>部会における調査審議結果は、諮問事項のうち各部会の所掌事務に係る部分について、以下の意見等を取りまとめ、部会の調査審議の結果とする。</u> <ul style="list-style-type: none"> □ 該当箇所を明らかにした修正意見 □ 委員からの自由意見 □ 「新たな課題」及び「重要性を増した課題」についての意見
4 議事録及び議事要旨	<ul style="list-style-type: none"> ① 各部会終了後、2週間以内を目途に議事録・議事要旨を作成する。 ② 議事録は、部会長及び出席者の確認を経た上で取りまとめる。 ③ 議事録は、県ホームページにて公開するものとする。

4. 部会における審議結果のとりまとめの流れ



5. 基盤整備部会における議題(検討テーマ)(案)

部会	日程(案)	議題(検討テーマ)等(案)
第1回 基盤整備部会	7月26日 (金)	①部会の日程及び議題等について ②沖縄振興の現状と課題 ⇒第2章
第2回 基盤整備部会	8月19日 (月)	①環境、文化、景観等とまちづくり ②防災・減災対策とインフラの維持管理・更新等 ③離島における社会基盤の整備(情報) ⇒第3章、第4章
第3回 基盤整備部会	9月10日 (火)	①観光、物流等を支える自立型経済構築に向けた基盤整備 ②離島における社会基盤の整備(情報以外) ③駐留軍用地跡地の有効利用 ⇒第3章、第4章
第4回 基盤整備部会	10月29日 (火)	①建設産業及び人材育成等 ②圏域別展開 ⇒第3章、第5章
第5回 基盤整備部会	11月12日 (火)	【部会意見等のとりまとめ】 ①総点検報告書(素案)に対する修正意見 ②自由意見 ③重要性を増した課題・新たな課題

6. 参考

新たな振興計画策定に向けたスケジュール	6 P
令和元年度 沖縄振興審議会等スケジュール（案）	7 P
沖縄県振興審議会の構成について	8 P
基盤整備部会の所掌事務について	9 P
沖縄県振興審議会基盤整備部会委員名簿	10P
沖縄21世紀ビジョン基本計画・実施計画の体系と検証	11P
沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート（未定稿）	12P～13P

新たな振興計画策定に向けたスケジュール案

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
--------	-------	-------	-------

SDGs、アジア経済戦略構想、人口増加計画等の総合戦略の検討・反映

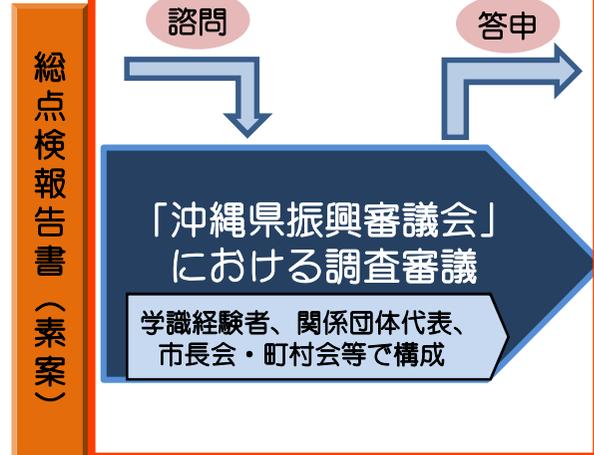
新沖縄発展戦略
(H30.9策定)



「新沖縄発展戦略有識者チーム」
における再検証・追加吟味

総点検実施方針の決定

- 総点検報告書(案)
- 第1章 総説
 - 第2章 沖縄振興の現状と課題
 - 第3章 基本施策の推進による成果と課題及び対策
 - 第4章 克服すべき沖縄の固有課題
 - 第5章 圏域別展開



新たな提言(仮称)
に向けた振興計画に

沖縄総点検報告書

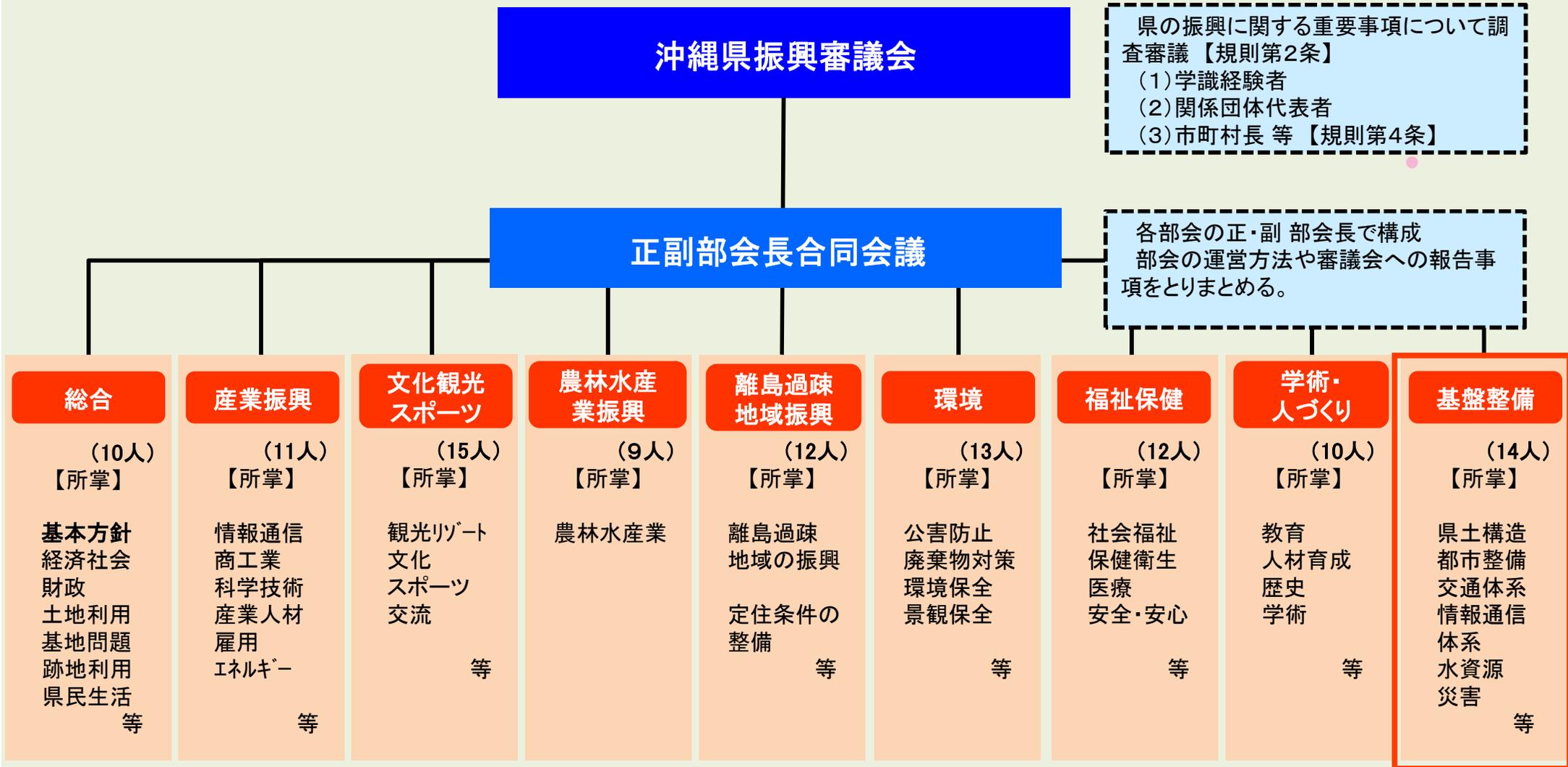


新たな振興計画(素案)



新たな振興計画(案)

沖縄県振興審議会の構成について



基盤整備部会の所掌事務について

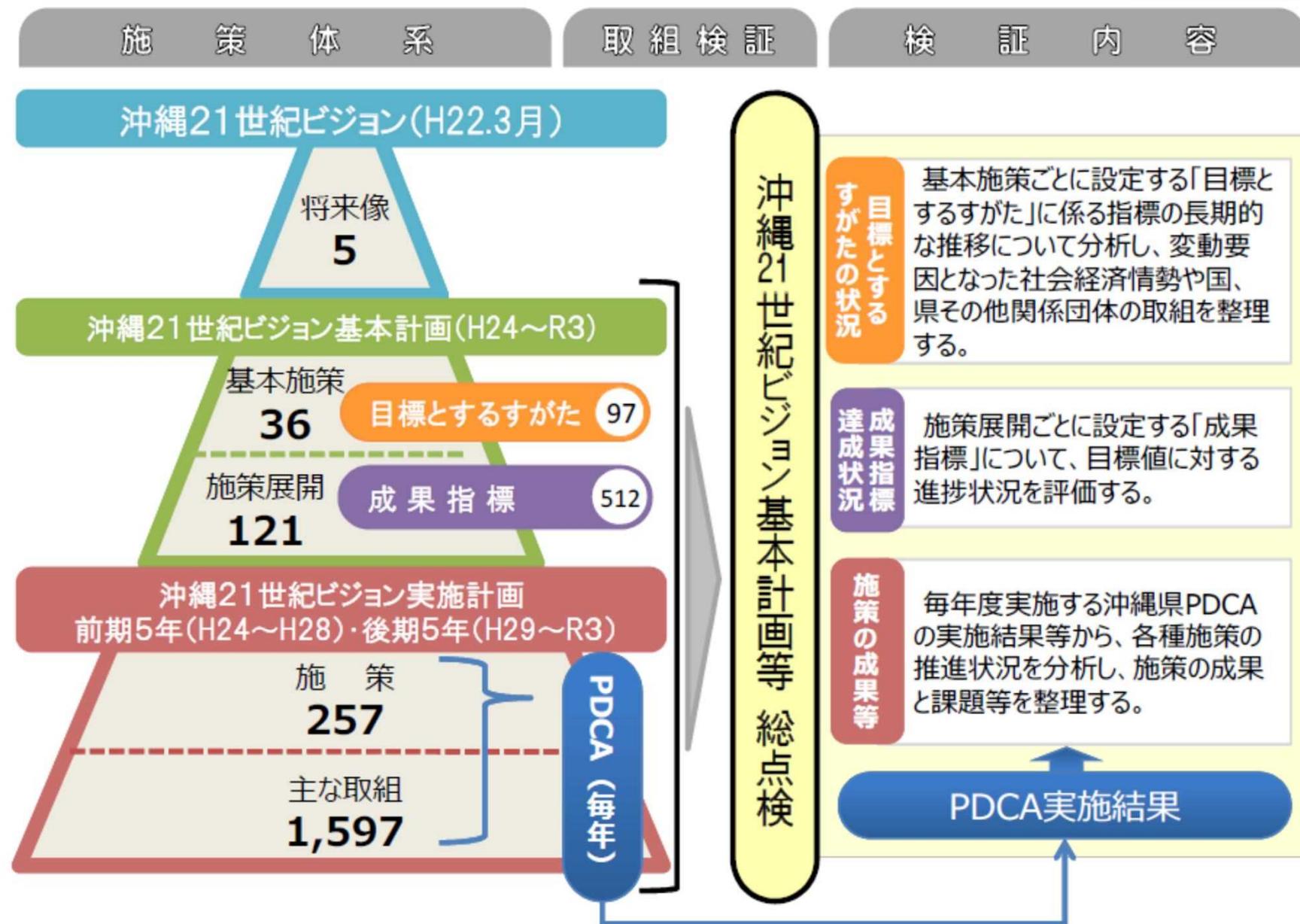
別表（第2条関係）

部会名	所掌事務
総合部会	基本方針、経済社会、財政、土地利用、米軍基地問題、跡地利用、県民生活等に関する事
産業振興部会	情報通信関連産業、商工業、科学技術、産業人材育成（他部会の所掌に属するものを除く。）、雇用、エネルギー等に関する事
文化観光スポーツ部会	観光・リゾート産業、文化、スポーツ、交流等に関する事
農林水産業振興部会	農林水産業等に関する事
離島過疎地域振興部会	離島過疎地域の振興、定住条件の整備等に関する事
環境部会	公害防止、廃棄物対策、環境保全、自然景観の保全等に関する事
福祉保健部会	社会福祉、保健衛生、医療、安全・安心等に関する事
学術・人づくり部会	教育・人材育成、歴史、学術等に関する事
基盤整備部会	県土構造、都市整備、交通体系（基盤・ネットワーク・コスト）、情報通信体系（基盤・ネットワーク・コスト）、水資源、災害、景観形成・風景づくり等に関する事

沖縄県振興審議会 基盤整備部会委員名簿

番号	氏名(ふりがな)	役職等	専門分野
1	有住 康則 (アリズミ ヤスノリ)	琉球大学工学部 名誉教授	橋梁・構造
2	宮城 隼夫 (ミヤギハヤオ)	琉球大学名誉教授	情報・通信
3	小野 尋子 (オノ ヒロコ)	琉球大学工学部 准教授	建築・都市計画
4	神谷 大介 (カミヤ ダイスケ)	琉球大学工学部 准教授	環境・防災・交通
5	入部 綱清 (イリベ ツナキヨ)	琉球大学工学部 助教	防災・海岸
6	平良 敏昭 (タイラ トシアキ)	(株)沖縄建設新聞 代表取締役社長	建設業
7	美里 義雅 (ミサト ヨシマサ)	沖縄都市モノレール(株) 代表取締役社長	公共交通(軌道系)
8	小川 吾吉 (オガワ ゴキチ)	一般社団法人 沖縄県バス協会 会長	公共交通(バス)
9	東江 一成 (アガリエ カズナリ)	一般社団法人 沖縄県ハイヤー・タクシー協会 会長	公共交通(タクシー)
10	青木 紀将 (アオキ ノリユキ)	日本トランスオーシャン航空株式会社 代表取締役社長	航空・空港
11	佐次田 朗 (サジタ アキラ)	公益社団法人 沖縄県トラック協会 会長	陸上輸送(トラック)
12	宮城 茂 (ミヤギ シゲル)	琉球海運(株) 代表取締役社長	海運・港湾
13	畔上 修一 (アゼガミ シュウイチ)	西日本電信電話株式会社 沖縄支店 支店長	情報・通信
14	湯浅 英雄 (ユアサ ヒデオ)	沖縄セルラー電話株式会社 代表取締役社長	情報・通信

○沖縄21世紀ビジョン基本計画・実施計画の体系と検証



沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	I 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
基本施策番号・名称	1-(6) 価値創造のまちづくり
施策展開番号・名称	1-(6)-ア 沖縄らしい風景づくり

成果指標						背景・要因の分析
成果指標		目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況	
1.	市町村景観行政団体数	41団体	21団体(H23年度)	34団体(H30年度)	進展	
2.	景観地区数	24地区	3地区(H23年度)	8地区(H30年度)	進展遅れ	
3.	景観アセスメント数	80件	0件(H23年度)	45件(H30年度)	進展	
4.	景観・親水性に配慮した海岸整備の延長	10,080m	4,850m(H23年度)	9,693m(H30年度)	達成見込	
5.	無電柱化整備総延長(良好な景観形成)	173.2km	109km(H23年度)	154.7km(H30年度)	達成見込	
6.	自然環境に配慮した河川整備の割合	70.2%	63.2%(H23年度)	67.8%(H30年度)	進展	
7.	歴史景観と調和する都市公園の供用面積	56.9ha	32.0ha(H22年度)	35.0ha(H30年度)	進展遅れ	
政策ツール						
主な予算事業						
事業・取組 (事業年度)	事業の種類	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
沖縄らしい風景づくり促進事業(H24~R3)(土木建築部)	県事業 ソフト交付金	333百万円 (267百万円)	地域資源を活用した景観計画や行動計画等詳細計画の策定の助言等を行う	【H30年度目標】 景観行政団体数(累計): 34団体	【H30年度実績】 景観行政団体数(累計): 34団体	達成
沖縄らしい風景づくり促進事業(H24~R3)(土木建築部)	県事業 ソフト交付金	333百万円 (267百万円)	公共事業における景観アセスメントの実施等により、良好な景観形成を図る	【H30年度目標】 景観アセスメント実施(累計):50件	【H30年度実績】 景観アセスメント実施(累計):45件	達成
自然環境に配慮した河川の整備(H24~R3)(土木建築部)	県事業 ハード交付金 社総金	19,344百万円 (17,409百万円)	護岸に自然石を使用する等、環境・景観に配慮した多自然川づくりにより、河川の水辺環境の保全・再生を図る	【H30年度目標】 整備延長(治水対策としての多自然川づくり):6.4km	【H30年度実績】 整備延長(治水対策としての多自然川づくり):5.7km	概ね達成
景観・親水性に配慮した海岸の整備(H24~R3)(土木建築部)	県事業 ハード交付金 内閣府計上	4,795百万円 (3,910百万円)	自然石を用いた石積み式護岸、傾斜式護岸など、景観・親水性に配慮した海岸の整備を行う	【H30年度目標】 利用者に配慮した海岸整備延長(累計):8,511m	【H30年度実績】 利用者に配慮した海岸整備延長(累計):9,693m	達成

(1)市町村景観行政団体数【進展】
市町村の景観行政団体移行に向け、助言を行ったほか、景観行政コーディネーター研修等を実施したことなどから景観行政団体の登録数は順調に進展している。

(2)景観地区数【進展遅れ】
市町村との意見交換等を行ったものの、H30年度は目標を下回っている。地域の合意形成に時間を要するため、市町村の景観まちづくりに関する講演会などの取り組みに、県内外からアドバイザーを派遣し景観地区の指定等に向けた支援を行うことで目標を達成する見込み。

(3)景観アセスメント数【進展】
H30年度目標を下回ったものの、景観アセスメントの導入実績は進捗している状況であり、取組は順調である。

(4)景観・親水性に配慮した海岸整備の延長【達成見込】
中城湾港海岸(豊原地区)等の整備により景観・親水性に配慮した海岸の整備はH30目標値に対している。引き続き整備を推進していくことから、令和3年度には成果目標は達成できると見込んでいる。

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	I 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
基本施策番号・名称	1-(6) 価値創造のまちづくり
施策展開番号・名称	1-(6)-ア 沖縄らしい風景づくり

政策ツール							背景・要因の分析
主な予算事業							<p>(5)無電柱化整備総延長(良好な景観形成) 【達成見込】 H30年度目標を下回ったものの、年度末に策定した「沖縄県無電柱化推進計画」に基づき、電線管理者と協力し事業の推進を図ることで成果指標について達成見込である。</p> <p>(6)自然環境に配慮した河川整備の割合 【進展】 18河川において護岸工事等を行った結果、H30年度目標を下回ったものの、整備実績は進捗している状況であり、取組は順調である。引き続き事業の促進をはかり、目標値の達成を目指す。</p>
事業名 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況	
都市公園における風景づくり(H24～R3)(土木建築部)	国・県 国直轄 内閣府計上	5,579百万円 (2,789百万円)	沖縄らしい文化的な歴史資産、風土および自然と共生する憩いの場を創出するため、都市公園の整備を行う	【H30年度目標】 供用面積(都市公園の整備):33.5ha	【H30年度実績】 供用面積(都市公園の整備):35ha	達成	
無電柱化推進事業(H24～R3)(土木建築部)	国・市町村 県事業 ハード交付金 ソフト交付金	5,659百万円 (3,003百万円)	電線類を地中化するため電線共同溝を整備する	【H30年度目標】 無電柱化整備延長(要請者負担方式等による無電柱化の推進(景観)):6.0km	【H30年度実績】 無電柱化整備延長(要請者負担方式等による無電柱化の推進(景観)):5.7km	達成	
沖縄らしい景観計画の策定(H24～H29)(複数市町村)	市町村事業 ソフト交付金	147百万円 (118百万円)	沖縄らしい魅力ある景観形成を図るための計画策定	景観計画策定のための調査、景観計画の策定	【H29～H29年度実績】 達成市町村割合90%	達成見込み	
施設型共同墓整備事業(H27～H29)(浦添市)	市町村事業 ソフト交付金	282百万円 (225百万円)	市民の墓地需要及び新たな墓地建設の抑制及び点在化する既存墓地の集約化を図る施設の整備	施設型共同墓建設工事の完了	施設型共同墓建設工事の完了	達成	
税制等							<p>(7)歴史景観と調和する都市公園の供用面積 【進展遅れ】 首里城公園、中城公園に供する施設整備を行った結果、H30年度目標を上回っている。しかし公園用地の取得に長期間を要することから、R3年度目標値の達成に向け、引き続き市町村を通じて地元自治会、関係者等の協力を得ながら事業を推進する。</p>
軽減措置の名称(対象年度)	適用数量・金額 (24～29年度)	目標値(33年度)	実績値(29年度)	達成状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・税制は税制改正の際の事前評価書を基本に適用実績や目標値、実績値、達成状況を評価する。 ・適用数量・金額についてH30年度の実績が出ている場合はH30年度の数値を記載する。 							
努力義務・配慮義務・特例措置							
沖縄振興法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)					
<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄振興特別措置法の各条文に規定された国及び地方自体による努力義務、配慮義務、その他の特例措置について、県で把握している範囲で記載する。 							